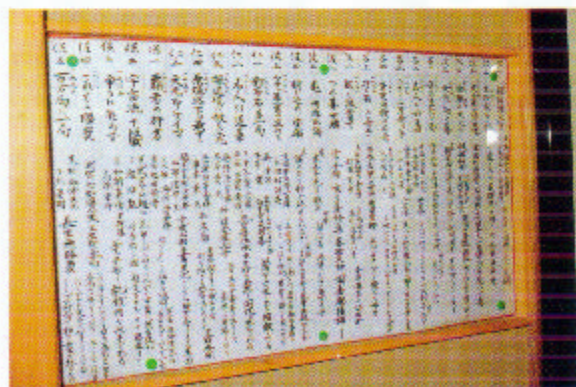




▲本堂天井には古今の名局・珍形が配置されている。



▲天井の図の説明書き。

栃木県佐野市寺中町にある「法雲禅寺」は全国的にも珍しい囲碁一色の禅寺である。住職の鷺見一道さんが碁をたしなむのはいうまでもないが、本堂の天井を見れば誰もが驚くはずだ。古今の名局・珍型をずらりと並べて壮観そのもの。全部見ていると首が疲れるほどだ。



▲林海峰九段の書「天眼」

法雲禅寺(佐野市)



▲鷺見住職が手にする座禅の道具には「一五四六四九」（いごよろしく）とあった。

当然榎の木を使っている。県北のとある民家にあつたものを伐採したとき、入札に加わって手に入れたほどだ。これほど熱が入っているからには、何か訳がありそうだ。

「囲碁は座禅の宇田観につながるものがあるのではと